

令和8年度 牧之原市立榛原中学校 学校評価

校長名	杉田 雅良
-----	-------

1 昨年度の成果と課題

○中学3年間で自らの「こころざし」を育て、大きく成長し卒業を迎えた。	●人に流されず、自分を律し、ルールやマナーを守る。
○学校全体で体育大会や文化発表会に力を合わせ団結し、熱くなれる。	●他者との対話を通して学びを深める授業づくり。
○自分のペースやリズムで学習に取り組む生徒が増えた。	●学習や生徒会活動等の学校生活における主体性や積極性

2 本年度の基本方針(経営の重点)

1 誰一人取り残さない教育を推進する。
2 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業づくりを推進する。
3 「地域の学校」としての自覚を持ち「地域が誇りにできる」学校づくりを推進する。
4 「きごうか教育(キャリア教育)」を軸とした小中一貫・連携教育を推進する。

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
○誰一人取り残さない教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる生徒の居場所づくりと学びの充実(校内・校外教育支援センター・日本語指導教室) 「あたたかい言葉、やさしいまなざし、ていねいな関わり」の共通実践 専門家や関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しい85%以上 自分にはよいところがある85%以上 チャレンジできた(生徒) 常に生徒理解に努める。 年間4回の個別面談の実施(教師) 		
○個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「夢中になって学ぶ生徒～自らの学習を調整することを通して」の実践(自己調整できる学習過程) 「見通す」「実行する」「振り返る」場面における生徒の姿を追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学習に夢中になれた70%以上 授業や単元の最初にゴールイメージを持てた70%以上 自分の変化に気づき、学習方法を修正・改善できた70%以上(生徒) 実践を語り合える校内研修(教師) 		
○キャリア教育を軸とした小中一貫・小中連携教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を活用した「きごうか教育」の実践 教員、児童生徒の中学校区の交流実践 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア実践における地域人材の活用延べ人数100人以上 学区特別支援学級交流会の実践を通し、小中の特別支援教育の繋ぎの重要性を意識した100%(教師) 		
○「地域の学校」としての自覚を持ち「地域が誇りにできる」学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校の経営や運営に積極的に関与する熟議のある学校運営協議会 地域発信、地域貢献活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の姿を実際に見てもらっての学校運営協議会の運営100%(3回開催) 地域行事へ積極的に参加した90%(生徒) 		